

平成28年度 第39回神奈川県体操競技中学生選手権大会

確 認 事 項

H28. 4.

神奈川県体操協会

(1) 登録について

参加者は、必ず日本体操協会及び、神奈川県体操協会に登録をする。

(2) 引率者並びに監督、コーチについて

① 引率は参加選手の所属長が認めた成人であることし、引率者は選手すべての行動に対し、責任を負うものとする。

② 監督、コーチは所属長が認める指導者とし、傷害・賠償責任保険に必ず加入すること。

③ 引率者・監督は大会の始めから終わりまで会場にとどまること。

④ 各班のチームリーダーは、プログラムの一番上に記載された選手の監督があたる。
ただし、関係監督相互の協議により、そのうちの1名があたっても良いこととする。

⑤ 監督・引率者は所属ごとに重複することなく申込みを行うこと。

⑥ コーチは所属をまたがっても可とし、競技中も競技フローに降りて選手の補助等を行っても良いこととする。

(3) 競技中の種目ごとの始まりと終わりの挨拶について

各種目のはじめの挨拶は、進行係りの放送での指示で審判員の前で整列して行う。終了の挨拶は種目ごとに競技終了時に自席の前に整列し、器具に向かって行う。

(4) エバーマット・着地追加マット（ピタリマット）について

①エバーマットについて

原則使用禁止。但し、練習時の使用は認める。(演技前のアップ時は不可)

②着地追加マット

- ・女子はゆか以外の種目で必ず使用する。
- ・男子はつり輪、跳馬、鉄棒で必ず使用する。演技中の移動は不可。着地の目的に使用する。
鉄棒は2枚使用（2枚重ねは不可）

(5) 跳馬の跳躍版（ロイター板）について

ばねの数が3・3・2と3・1・2の2枚を用意する。

※2・1・2を認める。使用後は3・1・2に戻すこと。

(6) 補助者について

男子は、つり輪、跳馬、平行棒、鉄棒に補助者をつけることができる。

女子は、段違い平行棒に補助者をつけることができる。

(7) 競技開始前のアップ時間について

平行棒と段違い平行棒のアップ時間は1人50秒とする。アップ開始の計測は、前アップ者の終了と同時に進行。

そのほかの種目のアップ時間は1人30秒とする。

女子跳馬は1人2本とする

(8) 成績順位及び表彰について

①同点の場合には、同順位とする。

②次の場合には成績順位及び表彰の対象としない。

ア) 選手が演技すべき種目の全部を演技しなかった場合。但し、不慮の事故等で種目の棄権があった場合、種目別選手権の表彰対象とする。

(9) 女子レオタードについて

ノースリーブを認めるが、極端に細い（5cm以下）肩ひもは不可。

(10) 女子のゆか伴奏音楽について

デッキは各所属が用意すること。伴奏音楽はMD、CD、iPodなどを使用する。

(11) 得点記録票兼オーダー用紙について

得点記録票兼オーダー用紙を、競技順序の各班各組の最初に記載されている選手・監督に配布しますので、試技順を記入して、種目開始の挨拶の前に審判員に提出すること。

(12) 写真・ビデオ撮影について（別紙参照）

(13) 競技終了後の器具の片づけ、清掃について

競技に参加した選手、監督、コーチ・引率者は必ず参加してください。

応援に来られました保護者の方々も、できるだけ参加してください。

選手は必ず雑巾を一枚以上持参してください

(14) 補助役員について

①男女各種目に2名の補助役員が必要です。

②補助役員は、審判員の横の席に座り、得点計算、得点記録記載、得点掲示、得点配布（選手・本部記録）などを行います。

③男子及び、女子1班の補助役員16名（中学生以上）をあらかじめ決めておきます。

引率者の中から任意に決めます。会場記録に入れない引率者はお申し出ください。別の係りとします。

④女子2、3班の補助役員は競技が終わった選手に依頼します。

(15) 前日会場練習について

中学選手権大会前日は高校の関東大会県予選会となっているため、大会終了後の練習となります。前日練習を希望する選手は大会申込書の前日練習希望の欄に○印を明記してください。

但し、前日練習での怪我や事故等は保険の対象外になりますので、対応は各所属で対応してください。

また、練習には選手の監督、コーチが必ず付き添ってください。